

自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日

## I 事業の状況

平成 25 年度において実施した事業について報告します。

### 1. 大宅壮一文庫の維持運営及び拡充

#### (1) 寄付及び賛助会員に関して

当法人の事業を遂行するため、財団設立の目的及び事業に賛同する個人及び法人から寄付を受け入れている。本年度は 3 人の方から寄付をいただいた。

賛助会費の寄付は、法人会員が新規入会の 3 件を含め 98 件だった。個人会員は前年度より 12 人増え 196 人となった。平成 25 年度から学生会員を新設して、長期間継続して調査研究を行う学生の便宜をはかった。学生会員の新規入会は 21 人となった。

#### (2) 文庫の利用状況

##### 1. 利用者について

開館日数は日曜 52 日、祝日 15 日、年始等の休館日 72 日を除いて、293 日となった。全体の営業日は、日曜ファクシミリサービス営業日も含め 343 日となった。

年間の利用者数は合計 88,204 人となり、前年比 1,701 人減少した。月平均は 7,350 人、一日平均は 257 人となった。雑誌記事索引ウェブ検索サービスは公立図書館、教育機関、賛助会員等に年中無休のサービスを提供している。

利用者数の内訳は、来館者が 16,633 人、ファクシミリサービス利用者が 27,505 人、複写資料配送サービスの利用者が 516 人となった。雑誌記事索引ウェブ検索サービス利用者数は 43,550 人となった。

##### 2. 資料の利用状況について

雑誌の利用冊数は合計 672,626 冊となり、前年比 67,651 冊増加した。月平均の利用冊数は 56,052 冊となった。資料複写枚数は合計 1,019,723 枚となり、前年比 82,980 枚増加した。月平均の複写枚数は 84,977 枚となった。

### 2. 平成 25 年度事業計画並びに実績

#### (1) 資料の収集拡充

##### 【平成 25 年度事業計画】

##### ① 図書

従来収集の雑誌及びノンフィクション関係書籍のほかに、新たな雑誌等の拡充をはかる。

##### ② 雑誌記事索引

当文庫独自の雑誌記事索引は、冊子体総目録や CD-ROM として刊行されているが、ウェブ検索サービスでも広く国内外で利用され、わが国の社会文化歴史研究に活用されている。本年度も一層の拡充をはかる。

##### 【平成 25 年度実績】

##### ① 蔵書の拡充について

新しい雑誌の発行に注意し、主要な創刊号を購入、所蔵をはかった。可能な限り多種類の雑誌のバックナンバーを備えるように随時出版元に寄贈依頼を行い、図書資料の拡充をはかった。

新刊雑誌は、出版元からの定期受贈の 805 誌に購入補充の 46 誌 779 冊を含めた 851 誌 9,364 冊と創刊号 50 冊を収集した。その他に越生分館で保存用に購入した 27 誌、416 冊と個人寄贈の古雑誌 1,262 冊、購入補充の古雑誌 4 冊を加えた本年度の雑誌収集合計は 11,096 冊となった。書籍収集については個人寄贈 28 冊、法人寄贈 576 冊、合計 604 冊を受贈した。古書籍の購入 1 冊を加えた書籍収集合計は 605 冊となった。本年度の図書資料の収集総計は、11,701 冊となった。

## ②雑誌記事索引の作成について

収集雑誌のうち利用頻度を考慮し一般週刊誌、女性週刊誌、総合月刊誌、男性誌、女性誌、経済誌など 353 誌、4,313 冊について人名件名別の詳細な記事索引を作成した。本年度は記事索引 156,128 件（分類件数 194,396 件）を作成し、人名索引に 83,947 件、件名索引に 110,449 件分類して雑誌記事索引データベースに登録した。

平成 25 年度は雑誌記事索引データベースの改修により、冊子体の『雑誌記事索引総目録』に収録されていた 1,036,710 件の記事索引をデータベースに追加搭載した。明治時代から本年度末まで 130 余年間について、人名索引 146,187 項目、件名索引 6,733 項目（小項目数）に分類された記事索引 4,853,054 件（分類件数 5,903,692 件）が雑誌記事索引ウェブ検索サービスで検索が可能となった。

## (2)雑誌記事索引データベースサービスの整備

### 【平成 25 年度事業計画】

#### ①来館・記事代行検索プリントサービス

本年度も来館者を対象に、必要とされる雑誌記事索引データをコンピューターで代行検索して、検索結果を無料で印刷して閲覧提供する。

#### ②記事索引閲覧サービス

本年度も来館者用に検索端末を設置し、当館所蔵誌の雑誌記事索引を自由に検索して、閲覧できる体制を常備する。

#### ③記事検索資料ファクシミリ送信サービス

会員を対象に、雑誌記事索引データベースで必要な記事を検索し、記事リストをファクシミリで送信するサービスを継続する計画である。

#### ④教育機関対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

本検索サービスは平成 14 年 7 月に開設されたが、国内のみならず国外教育機関においても活用されており、一層の普及促進をはかる。

#### ⑤賛助会員対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

本サービスは平成 18 年 4 月から開始したが、本年度も一層の普及促進に務める。

#### ⑥公立図書館対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

本サービスは平成 22 年 4 月から全国の公立図書館を対象にサービスを開始したが、本年度も一層の普及促進に務める。

#### ⑦雑誌記事索引データベースシステムの改修終了と新サーバーの運用開始

平成 25 年 3 月末にデータベースシステムの改修を終了し、4 月 1 日に新サーバーに切り替えて運用を開始する。改修により、データ検索許容量に制限のないシステムとなるとともに、システム強化をはかり、サーバーのトラブルによる長時間のシステム停止を回避できる機器構成となる。さらに『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』収録の明治・大正期から昭和 63 年までの索引データ 100 万件を追加搭載する。データ更新頻度も毎週 1 回から毎週 2 回に増やして、利用者の利便をはかる計画である。

### 【平成 25 年度実績】

①来館者を対象に雑誌記事索引をコンピューターで代行検索し、該当記事リストの無料プリントを行った。代行検索の利用者数は 1,208 人。プリント枚数は 39,491 枚となった。そのうち、プリント持ち帰り希望者 55 人に 946 枚を頒布した。

②来館者が、明治時代から最新までの雑誌記事索引を 29 台の端末（1 台の CD-ROM 端末を含む）で自由に検索できる現体制を維持し、専任の係員による代行検索やガイダンスを徹底して、現状の利便性を強化することに努めた。

#### ③記事検索資料ファクシミリ送信サービス

会員を対象に、雑誌記事索引データベースから必要な記事リストをプリントしてファクシミリで送信する有料検索サービスを行った。

#### ④教育機関対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス（WEB 教育機関版）

教育機関限定の雑誌記事索引ウェブ検索サービスは、海外も含めて利用機関が順調に増えており、現在 133 機関に導入されている。学生や研究者が学位論文等作成などに活用している。

〔著作運営〕 公益財団法人大宅壮一文庫

〔事業対象〕 学校図書館

〔収録資料〕 明治時代から最新までの雑誌記事索引 485 万件

〔利用料金〕 252,000 円（税込）（月額：21,000 円）

⑤ 賛助会員対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス（WEB会員版）

賛助会員を対象にした雑誌記事索引ウェブ検索サービスは、平成 25 年 9 月から法人会員利用に加え個人会員利用も開始した。法人会員の利用部署数は前年より 5 部署増えて 46 部署となった。個人会員の利用登録者数は 24 人だった。利用表示件数（1 件 18 円）は 981,272 件となった。

〔著作運営〕 公益財団法人大宅壮一文庫

〔収録資料〕 明治時代から最新までの雑誌記事索引 485 万件

〔利用料金〕 ・基本料金（月額 5,250 円／個人会員は無料）  
・索引表示料金（1 件 18 円）

⑥ 公立図書館対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス（WEB公立図書館版）

公立図書館を対象にした雑誌記事索引ウェブ検索サービスは、県立図書館、市立図書館等、全国 15 の公立図書館で導入されている。図書館のレファレンス業務等、住民サービスに活用されている。

〔著作運営〕 公益財団法人大宅壮一文庫

〔事業対象〕 全国の公立図書館

〔収録資料〕 明治時代から最新までの雑誌記事索引 485 万件

〔利用料金〕 252,000 円（税込）（月額：21,000 円）

⑦ 雑誌記事索引データベースシステムの改修終了と新サーバーの運用開始

平成 24 年 4 月から開始したデータベースシステムの改修作業は平成 25 年 3 月 31 日に完了した。旧サーバーから新サーバーへの切替を行い、4 月 1 日に新システムの運用を開始した。新システムでは検索エンジンのデータ検索許容量に制限がなくなり、今後の索引データの増加に対応が可能となった。また、ハードウェアとソフトウェアのシステム強化を行って、サーバーのトラブルによる長時間のシステム停止を回避できる機器構成とした。加えて『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』収録の明治・大正期から昭和 63 年までの索引データ 1,036,710 件を追加搭載した。データ更新頻度も毎週 1 回から毎週 3 回に増やして、利用者の利便を向上させた。

(3) 雑誌記事複写サービス

【平成 25 年度事業計画】

① 来館複写サービス

来館者の要請による所蔵雑誌の記事複写サービスを著作権法の範囲内で行う。学業目的の学割料金も継続し便宜をはかる。

② 記事複写資料配送サービス

来館できない遠隔地の利用者が必要とする雑誌記事を著作権法の範囲内で複写し配送するサービスを継続する。

③ 記事複写資料ファクシミリ送信サービス

会員を対象に、雑誌記事索引で検索した雑誌記事を複写し、ファクシミリで送信するサービスを継続する。所定の複写権使用料を複写権管理団体に納付する。

【平成 25 年度実績】

① 来館複写サービス

来館者の要請により雑誌記事の複写サービスを著作権法の範囲内で行った。学業目的の学割料金については継続して便宜をはかった。

② 記事複写資料配送サービス

来館できない遠隔地からの利用者の要請にもとづき必要記事を著作権法の範囲内で複写し、代引き制度による配送サービスを行った。

③ 記事複写資料ファクシミリ送信サービス

会員を対象に雑誌記事索引で検索した雑誌記事を複写し、ファクシミリで送信するサービスを行い、所定の複写権使用料を複写権管理団体に納付した。

〔複写権使用料〕

記事複写のファクシミリ利用については、公益社団法人日本複製権センターとの利用許諾契約にもとづき、25 年度分複写権使用料として税抜 1,607,635 円を納付した。

(4) 埼玉越生分館の事業

【平成 25 年度事業計画】

- ① 来館者に大宅壮一関連資料を展示、公開する。原則として 1 週間に 1 回開館する。
- ② 来館者に所蔵書籍データベースを提供、閲覧サービスを行う。
- ③ 主要雑誌の予備用のバックナンバー保存は、経費節減のため一部の雑誌収集を中止する。

【平成 25 年度実績】

東京本館書庫が飽和状態となり、災害時の資料保全及び資料保存のため、平成 8 年度に埼玉県入間郡越生町に用地を取得、分館を建設した。平成 9 年 4 月に開館し業務を開始し、現在に至っている。平成 25 年度は週 1 日開館した。25 年度は有料入館者はなかった。

- ① 来館者に大宅壮一関連資料を展示、公開した。
- ② 来館者への所蔵書籍データベースの提供、閲覧サービスはなかった。
- ③ 主要雑誌のバックナンバーについては、経費節減のため収集雑誌数を大幅に縮小した。本年度は 27 誌、416 冊を継続購入して保管した。

(5) 出版物の刊行

【平成 25 年度事業計画】

- ① 「大宅文庫ニュース」の刊行  
機関紙「大宅文庫ニュース」を従来通り 2 回刊行し、無料頒布する。

【平成 25 年度実績】

- ① 「大宅文庫ニュース」の刊行  
機関紙「大宅文庫ニュース」を 2 回刊行し、大学、図書館、会員に無料頒布した。

(6) ホームページの改修

【平成 25 年度事業計画】

- ① 平成 10 年 8 月に開設したホームページはデザイン、機能とも老朽化してシステムの保守も終了している。ホームページを利用者にとって分かりやすい、使いやすいデザインに改修し、簡便な更新機能を持った新システムを導入して、頻繁に情報を発信できる魅力あるホームページにリニューアルする計画である。

【平成 25 年度実績】

- ① ホームページを利用者に分かりやすいデザインに一新して、簡便な更新機能を備えた新ホームページに改修した。平成 25 年 6 月からホームページのシステム改修を開始し、10 月 1 日に新ホームページを一般公開した。新ホームページでは当文庫の「利用案内」に加えて「索引紹介」ページを毎週更新している。「あまちゃん」「嵐」(アイドルグループ)の索引紹介は大変好評でアクセス数が増大した。新ホームページ一般公開から 1 ヶ月間のページビュー数は、旧ホームページより 25% 増加した。大宅壮一の著作『日本の遺書』を紹介するページも掲載している。